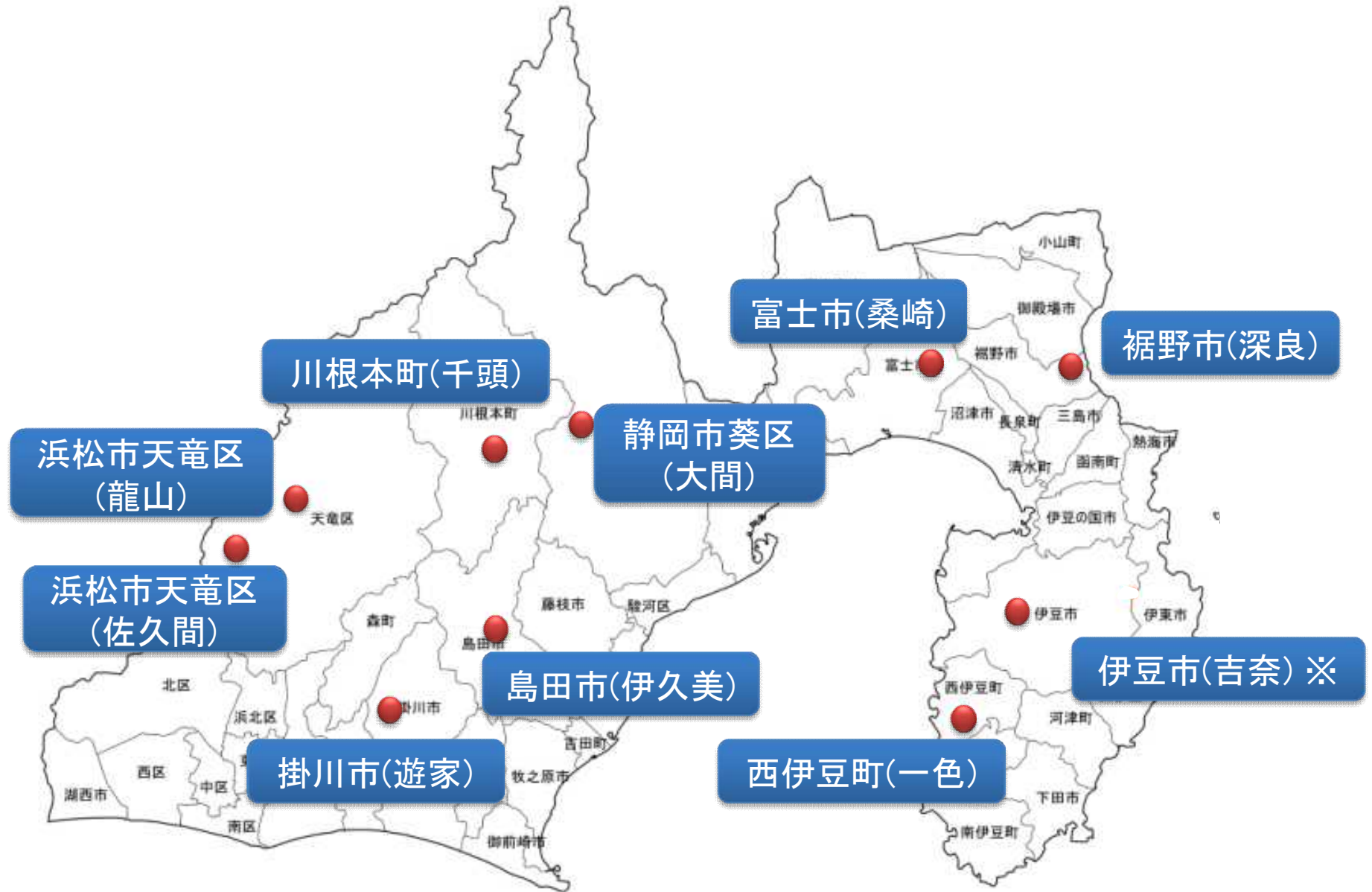


令和5年度第2回森の力再生事業評価委員会

事業実施箇所の 第2期モニタリング調査

静岡県農林技術研究所
森林・林業研究センター

調査地一覽



調査地はH28に設定

※ 伊豆市(吉奈)はH29に整備実施

調査地概況

	調査地	樹種	林齢 (施工時)	標高(m)	斜面方位	傾斜 (度)
1	西伊豆町(一色)	スギ・ヒノキ	50-66	450-540	南西	36-44
2	伊豆市(吉奈) ※	スギ・ヒノキ	43-54	434-470	南西-北西	22-41
3	裾野市(深良)	スギ・ヒノキ	59-71	600-650	南西-北	21-34
4	富士市(桑崎)	ヒノキ	62	650-700	北東-北西 南-南西	19-35
5	静岡市葵区(大間)	スギ・ヒノキ	41-62	910-980	南西-北西	24-36
6	島田市(伊久美)	スギ・ヒノキ	60	240-290	北-北東	36-46
7	川根本町(千頭)	スギ・ヒノキ	50	490-580	北-北東	34-45
8	掛川市(遊家)	スギ・ヒノキ	50-65	50-130	南西-北	25-42
9	浜松市天竜区(龍山)	スギ・ヒノキ	46	160-290	南-北西	11-44
10	浜松市天竜区(佐久間)	スギ・ヒノキ	19-25	680-772	南-北西	32-46

調査地はH28に設定

※ 伊豆市(吉奈)はH29に整備実施

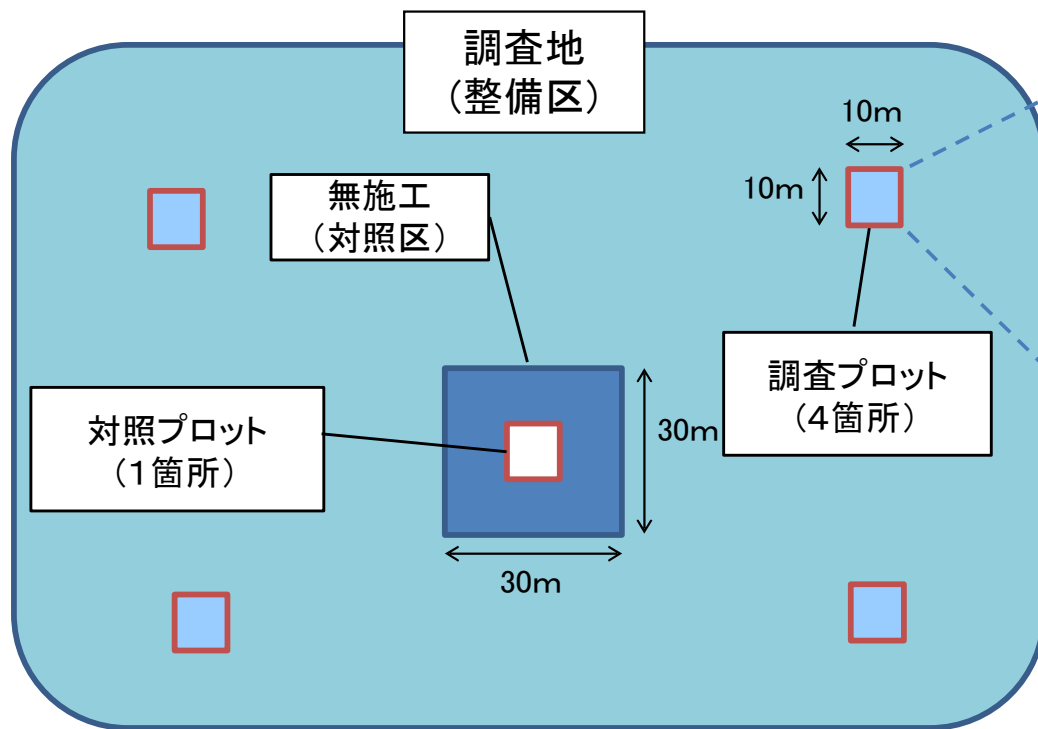
調査内容

目的	整備後の林分動態や生物多様性を経年的にモニタリング
項目	立木 : 立木密度、形状比(樹高、胸高直径) 土壌 : 浸食度 光環境 : 開空度、相対散乱光強度(rPPFD) 下層植生 : 植被率、種数、着花・結実、食害 下層木(稚樹): 本数、樹高、種数、食害
時期	令和4年7月～11月(伐採後6年目、伊豆市吉奈は5年目) 立木等 : 10月～11月 土壌、光環境: 7月～8月

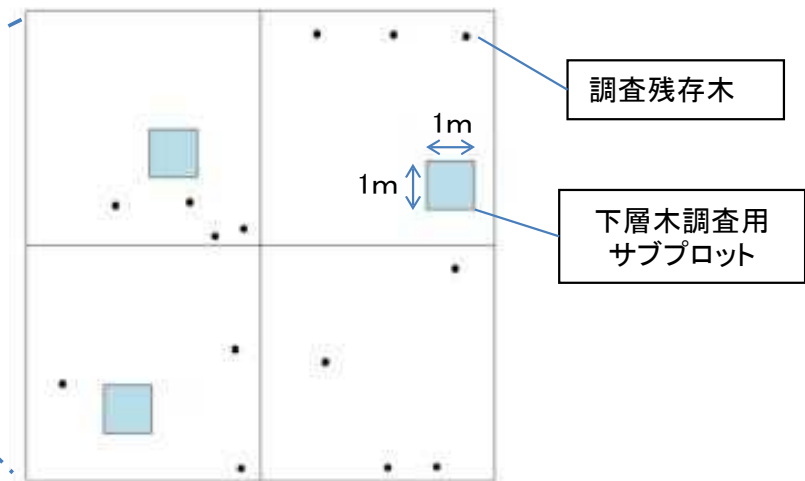
プロットの設定

- ・1調査地につき10m × 10mのプロットを4箇所
- ・各プロット内に1m × 1mの下層木調査用のサブプロット3箇所
- ・30m × 30mの無施工対照区の中に10m × 10mの対照プロットを1箇所

プロット配置イメージ図



プロット拡大図【参考】島田市伊久美プロット②



現地写真



調査結果

調査項目	調査結果
立木	○ 形状比は概ね横ばいで推移
土壌	○ 落ち葉や枯れ枝が地面を覆っており、浸食に強い状態で、大きな浸食は見られない
光環境	○ 残存木の枝葉が成長し、林内は暗くなる傾向
下層植生	○ 草木が地面を覆う割合は概ね増加傾向だが、ばらつきが大きい ○ 植物の種数は整備により一旦増加し、4年目以降は減少傾向 ○ シカ等による食害は全調査地で確認され、下層植生はシカ不嗜好性種や食圧に強い種が優占 ○ 着花・結実確認種数は整備後に増加し、3年目以降は横ばい
下層木(稚樹)	○ 下層木の本数は概ね変化なし ○ 獣害防止ネット設置により、一色、大間、桑崎で下層木が顕著に成長